

～平成18年度 都留文科大学市民公開講座～ 英米文学からみた「土地と文学」

土地や風土が人をつくり、人がその地域特有の文化や風土を生み出します。
文学もそれが生まれた土地や環境と深い関係を持っています。
英米文学を通じてその秘密を探ろうと思います。

日 時 12月2日、9日、16日、1月13日、27日の各土曜日(全5回) 午後1時30分～3時

場 所 本学1号館2階215教室

第1回「深南部ミシシッピーとウィリアム・フォークナー」

講 師 依藤道夫(本学英文学科教授)

概 要 ノーベル文学賞受賞作家のフォークナーは、大農園制度や奴隷制度、南北戦争などに彩られたアメリカ南部ミシシッピー州の生まれ育ちです。彼と崩壊する南部旧家や深南部の土地柄との深い関係を考えます。

なお、フォークナーは、山梨に隣接する信州長野に滞在したこともあります。ファーマー(農夫)と呼ばれることを好んだ彼の文学の成り立ちの秘密に迫りたいと思います。

第2回「未知の世界を歌うー17世紀イギリス文学に見る南北アメリカ」

講 師 富樫 剛(本学英文学科助教授)

概 要 スペイン・ポルトガルから遅れること数十年、16世紀末～17世紀になってイギリスは、南北アメリカおよび周辺諸島に本格的な関心を抱きはじめました。当然、文学作品にもこの未知なる世界が描かれはじめます。そんな作品をいくつか紹介し、TV、映画、各種雑誌、インターネットもなかった時代の文学がどのようなものであったかということを感じていただければと思います。

第3回「ナサニエル・ホーソンの『緋文学』(1850年)とハーマン・メルヴィルの『白鯨』(1851年)ー19世紀アメリカ文学の代表的作品の舞台の土地柄や風土について」

講 師 儀部直樹(本学英文学科教授)

概 要 ナサニエル・ホーソン(1804-64)の『緋文字』の物語の時代設定は17世紀後半、場所はマサチューセッツ州ボストンです。ピューリタン思潮の中、魔女狩りが行われた時代、場所で、主人公の女性ヘスター・プリンはどう生きたのか、をみなさんに紹介します。それから、ハーマン・メルヴィル(1819-91)の『白鯨』ですが、この小説の時代設定は発表時とほぼ同じと考えてよく、マサチューセッツ州のナンタケット島を出たエイハブ船長率いる捕鯨船ピーコード号は、巨大な白鯨モービー・ディックを追いかけます。この回は、陸地と海のコントラスト、船員の多様性に話題を絞ってお話します。

第4回「倫敦と牧野義雄」

講 師 中地 幸(本学英文学科助教授)

概 要 牧野義雄は愛知県豊田市出身の芸術家です。夏目漱石と同時代にロンドンに滞在した牧野は漱石とは異なり貧しい無名の一青年でした。しかし、牧野は画家としてロンドンで成功を収め、社交界の寵児(ちょうじ)となります。

日本ではまだまだあまり知名度は高くありませんが、その美しい水彩画は必ずや人の心をひきつけます。

また、牧野は何冊か英語で随筆を出版していますが、これらの本は彼が優れた文学者であったことを物語っています。

異国に暮らすとはどのようなことなのか、その目に映る風景とはどのようなものだったのか・・・文学者としての牧野を考えたいと思います。

第5回「現代アメリカ演劇とニューヨーク」

講 師 竹島達也(本学英文学科助教授)

概 要 アメリカを代表する喜劇作家であるニール・サイモン(Neil Simon,1927-)のコメディイヤーは、ニューヨークを舞台にして、そこに暮らすニューヨーカーの様々な人間模様(家族愛、自立、結婚、不倫、離婚、失業、老い)を笑いと共にたいへん味わい深く描いたものです。サイモンの代表的な作品を取り上げ、その中に「ニューヨーク的」なものがどのように投影されているかを考察し、サイモンの劇世界の魅力に迫ってみたいと思います。

参加申込方法

聴講ご希望の方は、次の連絡先に電話・ファックス若しくはホームページから各講座開催日の3日前までにお申し込みください。また、当日参加の受け付けもいたしますのでご利用ください。

申込・問合せ 都留文科大学 総務課企画広報担当 ☎(43)4341(代) FAX(43)4347

e-mail:kouho@tsuru.ac.jp http://www.tsuru.ac.jp